

コーポレートブランド力を高める
博報堂企業コミュニケーション統合プランニングパッケージ

「**Corporate WIN**」完成

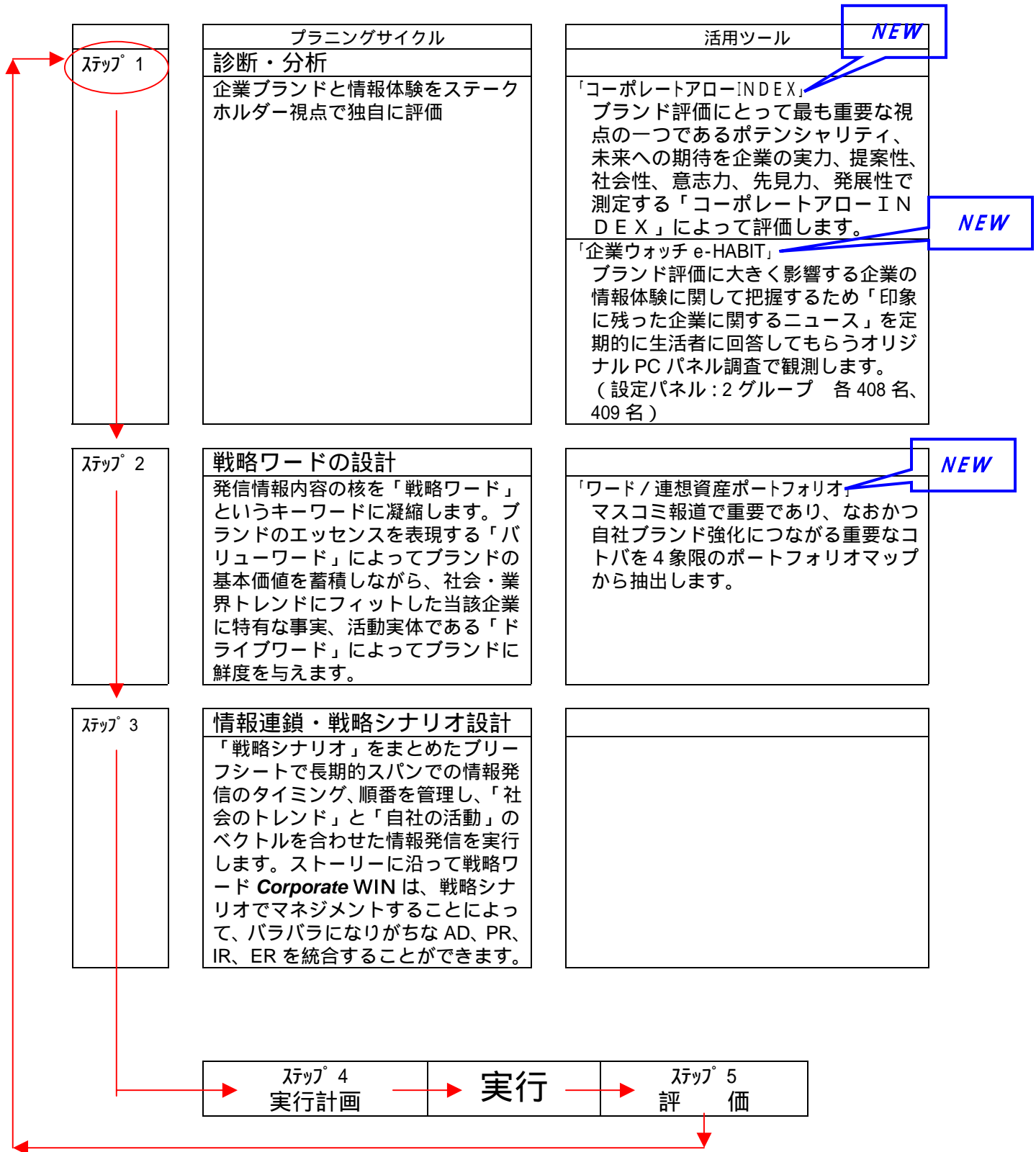
博報堂は、AD (= 広告)、PR、IR、ER (= 従業員向け広報) など、企業コミュニケーション活動全般を計画・実行・評価する独自のプランニング・パッケージとして

「**Corporate WIN**」(コーポレート・ウィン)

の開発を進めてまいりましたが、この度、本格的な運用を開始出来る準備が完了いたしましたので、お知らせいたします。

今後、個別企業のオーダーに応じて、当該企業のブランド価値向上のために本パッケージを活用して、戦略性と一貫性を高めたコミュニケーション活動を統合的に推進してまいります。

「Corporate WIN」(コーポレート・ウイン) を活用した業務の流れ



1 開発の背景

厳しい経済環境下、企業経営にとってコーポレートブランド力の向上が重要なテーマとなってきました。企業価値を高めるためには、無形資産の拡大が決め手であり、その見えない資産の中核としてブランド価値が注目されつつあります。ブランド価値に関しては、これまでインターブランドのランキングがありました。これに加え、昨秋のCB Valuatorの発表により、多くの有力企業のブランド価値は、数値として評価され、その強弱がより明確になってきました。そのため、各社は、企業ブランド価値の数値をアップするための具体的な方策を求めています。

博報堂では、企業ブランド価値向上のためには、すぐれた活動実体と同時に企業から発信する情報＝情報体験をいかに効果的にターゲットに伝えるかが非常に重要なポイントであると考えます。このような考え方に基づき、企業ブランド価値向上につながる企業コミュニケーションプランニングをサポートするシステムであるCorporate WINを開発いたしました。

2 Corporate WINの特徴

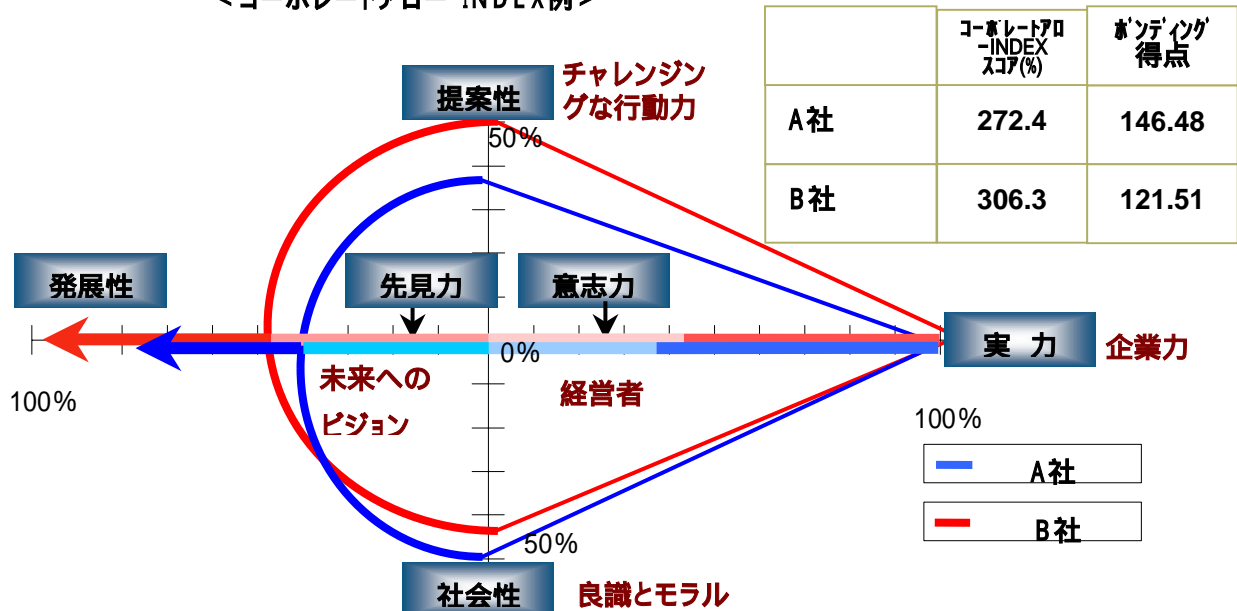
<1> 企業ブランドと情報体験をステークホルダー視点で独自に評価

企業ブランド評価データベースと情報体験に関するデータベースをオリジナルで開発しました。

「コーポレートアローINDEX」

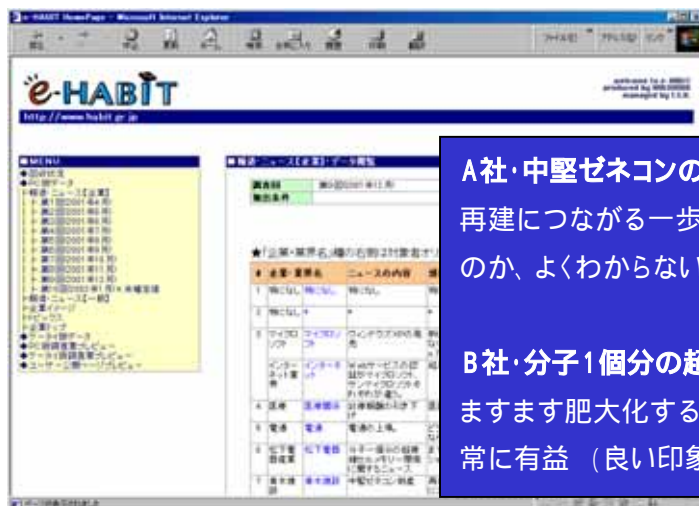
ブランド評価にとって最も重要な視点の一つであるポテンシャルティ、未来への期待を企業の実力、提案性、社会性、意志力、先見力、発展性で測定する「コーポレートアローINDEX」によって評価します。

<コーポレートアロー INDEX例>



「企業ウォッチ e-HABIT」

ブランド評価に大きく影響する企業の情報体験に関して把握するため「印象に残った企業に関するニュース」を定期的に生活者に回答してもらうオリジナル PC パネル調査で観測します。
 (設定パネル：2グループ 各 408名、409名)



A社・中堅ゼネコンの倒産
 再建につながる一步なのか、さらに泥沼へといたる一步なのか、よくわからない(悪い印象・45歳・男性)

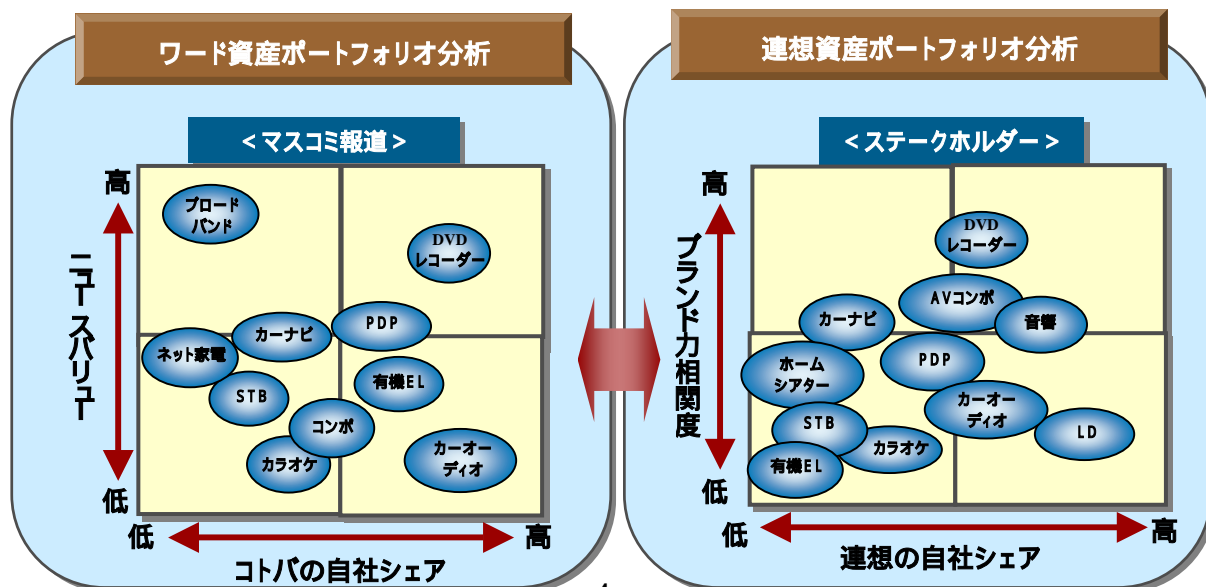
B社・分子1個分の超微細セルメモリー開発
 まずは肥大化するデータやアプリケーションの格納に非常に有益 (良い印象・41歳・男性)

< 2 > 「戦略ワード」によるメッセージの一貫性の管理

発信情報内容の核を「戦略ワード」というキーワードに凝縮します。ブランドのエッセンスを表現する「バリューワード」によってブランドの基本価値を蓄積しながら、社会・業界トレンドにフィットした当該企業に特有な事実、活動実体である「ドライブワード」によってブランドに鮮度を与えます。

「ワード/連想資産ポートフォリオ」

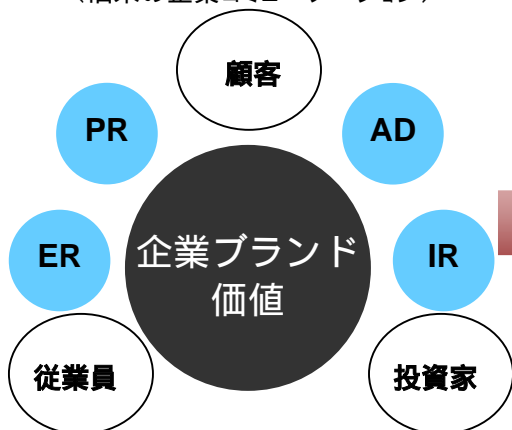
マスコミ報道で重要であり、なおかつ自社ブランド強化につながる重要なコトバを4象限のポートフォリオマップから抽出します。



< 3 > 「戦略シナリオ」で長期的にマネジメント

「戦略シナリオ」をまとめたブリーフシートで長期的スパンでの情報発信のタイミング、順番を管理し、「社会のトレンド」と「自社の活動」のベクトルを合わせた情報発信を実行します。ストーリーに沿って戦略ワード **Corporate WIN** は、戦略シナリオでマネジメントすることによって、バラバラになりがちなAD、PR、IR、ERを統合することができます。

〔旧来の企業コミュニケーション〕

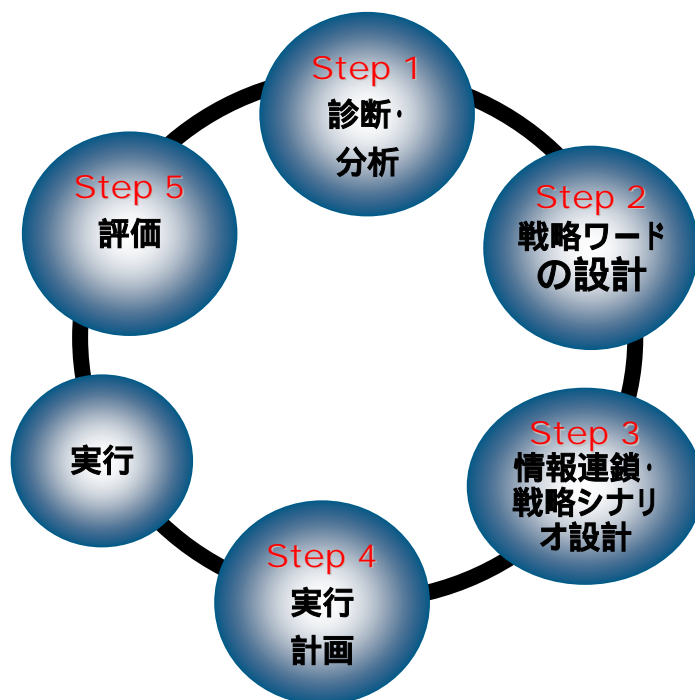


〔**Corporate WIN**で統合された企業コミュニケーション〕



< 4 > PLAN-DO-SEE のプランニングサイクルで実行

Corporate WIN は、企業ブランド情報体験診断からスタートする PLAN-DO-SEE、5つのステップのプランニングサイクルで実行します。



3 Corporate WIN の運用

戦略立案からコミュニケーション展開、評価まで、博報堂の担当営業が全体のプロデュースを行ない、コーポレートコミュニケーション局、ストラテジックプランニング局のスタッフを中心に全社横断チームによって実行します。

以上

問い合わせ先

研究開発局 青木 G 青木・嶋本 G 中馬 03 - 5446 - 6153 / 6485